ファーウェイ・ジャパン

サステナビリティ・レター

―私たちができること―

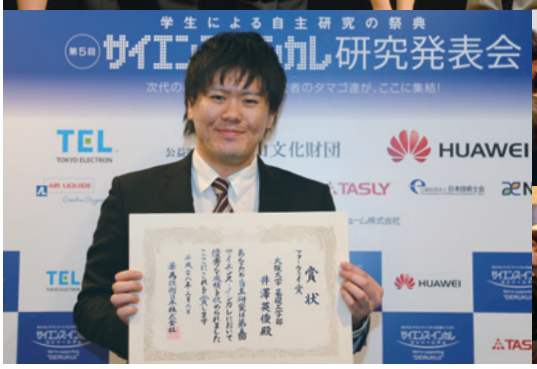
2016 春

未来を担う 日本のグローバル ICT人材を育成

雑誌「オルタナ」に
ファーウェイ・ジャパンの
取り組みが掲載されました

第５回「サイエンス・インカレ」開催 自主研究が創造性を養う

世界をよりつないでいくために CSRアジア東京フォーラムに登壇



2016年3月5、6日に開催された、学生による自主研究の祭典「サイエンス・インカレ」で

未来を担う、日本のグローバルICT人材を育成

HUAWEI JAPAN

世界で通信インフラを提供するファーウェイは、「ICT人材の育成」をCSR活動の柱に据えている。日本法人ファーウェイ・ジャパンは、3月5、6日に行われた全国の学生による自主研究発表会「サイエンス・インカレ」に協賛し、優れた科学技術に関する研究に対して賞を授与した。同社はファーウェイ本社での研修プログラムを用意するなど、意欲的な学生に対する機会を提供している。

ファーウェイ賞を受賞した大阪大学基礎工学部システム科学科4年生の井澤英俊さん

1987年に中国・深圳で設立されたファーウェイは、170カ国以上でICT（情報通信技術）ソリューションとサービスを提供し、世界人口の3分の1が利用する通信環境をサポートするグローバル企業だ。ファーウェイは「ICT人材の育成」をCSRの重要な柱として掲げ、世界中で実践的なICTトレーニング、奨学金、就労体験、インターンシップなどを提供している。ファーウェイ・ジャパンによる「サイエンス・インカレ」への協賛もその一環だ。

同社がテクノロジーの会社であり、グローバルに活躍できる理系人材の育成に貢献したいという思いのもと、支援している。

■創造性を養う自主研究の祭典

サイエンス・インカレは、文部科学省が主催する自然科学系学生の研究発表会だ。5回目となる今年は、3月5日から6日にかけて神戸国際会議場で開催された。全国から参加した大学生・高等専門学校生・短期大学生は総勢176組。46組による口頭発表と130組のポスター発表が行われた。

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課課長補佐の新免寛啓氏は、「コンセプトは『出る杭を伸ばす』。学生の皆さんには、自主研究を発表し競い合う場を提供することで、創造性を養い、社会に必要とされる『課題を発見できる力』『課題を解決に結び付けられる力』を身につけてもらうことを期待しています。そして、サイエンス・インカレをきっかけとした多くのご縁を大切に、日々の学生生活が一層充実したものになることを期待しています」と、「学生による自主研究の祭典」に対する思いを話した。

研究発表会当日には、「毛はよみがえるのか―夢の毛髪再生技術の開発」「スキーロボットに倣ってアルペンスキーヤーになってオリンピックに行こう!」「ちくわ作りに存在するサイエンスを探求する」など、それぞれの課題意識に基づいた、ハイレベルでユニークなプレゼンテーションが行われた。

サイエンス・インカレの特徴の一つは、「相手に伝える手法に長けているか」「内容がわかりやすいか」などプレゼンテーションそのものを評価することである。コ

文部科学省　科学技術・学術政策局
人材政策課課長補佐の新免寛啓氏

ミュニケーション力を重視する理念にもグローバル企業であるファーウェイ・ジャパンは共感し、協賛を決めた。

ファーウェイ・ジャパンは「イノベーティブであること」「グローバルに活躍できるコミュニケーション力を持っていること」「世界をよりよくするポテンシャルを秘めていること」を観点に、優れた学生の研究を表彰している。

今回、ファーウェイ賞を受賞したのは大阪大学基礎工学部システム科学科4年生の井澤英俊さんだ。研究タイトルは「適応的フォーカススイープ投影によるプロジェクタの被写界深度の拡張」。これは、凸凹のある立体物にプロジェクタで映像を投影しても、焦点ボケの無い鮮明な投影像を得るための技術研究である。特に映像分野において社会への影響が大きく、有効性も高いと評価された。

「とても驚いた。ものすごく嬉しいです」。ファーウェイ賞を受賞した井澤さんは興奮した表情で話す。「どうすれば焦点ボケにつながる『ズレ』を観測できるかなど、難しいことは多々ありましたが、こうして評価していただいたことで研究のモチベーションが上がりました。さまざまな分野に活用できるテーマだと思っていますので、世の中に役立てるようにさらに質を高めていきたいと思います」（井澤さん）。

出場した学生や審査員、企業を交えた交流会も開催された

全国各地からサイエンス・インカレに集まった学生たち。今年は279件の応募があった

■世界をよりつないでいくために

ファーウェイ・ジャパンは、ファーウェイ賞受賞者およびサイエンス・インカレの参加者に対し、「Seeds for the Future」という研修プログラムも提供している。これは、北京で書道や伝統絵画などの文化を学び、深圳本社で最新のICT技術に触れる、2週間の特別コースだ。夏休み中に開催され、交通費や滞在費は同社が支給する。

これまでにSeeds for the Futureに参加した学生は、50カ国1500人に上る。日本からも昨年20人の学生が参加した。参加した世界の学生からは「自分の作る技術がどのように情報化社会に役立てるのかを学べた」「ICTの基本を知る上でとても刺激になった」「技術開発をする上で常にお客様を意識するというのは重要な視点だと思った」といった声が寄せられている。

「IoTなどですべてが『より"つながった"世界』へと進んでいく中、日本においては、政府や経済界が懸念しているように、その変化に対応したICT人材が十分育成されているとはいえません。日本の学生がさまざまな機会を通じて、一人ひとりの個性（多様性）を重視し、相手に伝えるコミュニケーション力を持った、グローバルに活躍できる人材となることを期待しています」

ファーウェイ・ジャパンのワン・シン渉外・広報本部本部長はそう力を込めた。

ファーウェイ・ジャパンのワン・シン渉外・広報本部本部長

TOPICS 本社CSR部長、CSRアジア 東京フォーラムに登壇

ファーウェイのホリー・ラネヴォザナニー・CSR部長は1月18日、「CSRアジア 東京フォーラム2016」に登壇した。ホリー部長は「すべての人に安心で安全なネットワークを提供したい」とし、同社のCSR活動について説明した。

同社ではICT技術を生かした人材育成や情報格差の解消を行っている。事例として、バングラデシュの農山村部で通信にアクセスできるようにする「Phone Ladyプロジェクト」、インドで子ども向けに行うICT教育「eHopeプログラム」などを紹介した。

日本の事例としては、東日本大震災で被災した地域のネットワークを顧客と協働して、復旧した取り組みをあげた。ホリー部長は、「人口の10%をブロードバンドにつなげると、1%の経済成長につながる」と語った。今後は、地域社会に貢献するよりふさわしい方法を見つけ出し、パートナーシップを強化していきたいという。

登壇したファーウェイのホリー・ラネヴォザナニー・CSR部長

ファーウェイ・ジャパンのCSR活動報告

持続可能なサプライチェーンの構築目指す

ファーウェイ最高サステナビリティ責任者のアラン・アイケン氏は2015年9月、「JFBS第5回年次大会プログラム」に登壇し、同社のCSRの取り組みについてプレゼンテーションを行った。同大会のテーマは、「企業家精神とサステナブル・イノベーション」。アイケン氏は、「企業は持続可能な社会の発展に貢献できる力がある。特にサプライヤーが果たす役割は大きい」として、サプライヤー向けのカンファレンスや研修を開催しながら、二酸化炭素の排出量や廃棄物の削減を促し、CSRマネジメントを推進していると話した。

JFBS（企業と社会フォーラム）は、企業と社会にかかわる様々な課題、関係について、理論的・実務的な視点から考えていく学会として、2011年5月に発起人会をもって設立された。

「JFBS第5回年次大会プログラム」で。右がアラン・アイケン氏

ファーウェイ本社で SDGs を考えるサロン開催

ファーウェイは2015年12月、深圳本社でサステナビリティ・サロンを開催した。9月に国連総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）を達成するために、ファーウェイや外部有識者らでどのように貢献できるかを議論した。SDGsは、貧困の根絶やエネルギーの問題、生物多様性など、取り組み対象は合計17分野、169項目と多岐にわたる。

当日は、コカ・コーラ、大手キャリアのグローブ・テレコムといった企業や国連開発計画（UNDP）などの外部有識者、ファーウェイ社員含めた41人が参加。日本からは、早稲田大学商学学術院商学部の谷本寛治教授、日本フィランソロピー協会の落合敦子氏が参加した。グループディスカッションでは、ビジネスを通じてSDGsにどのように貢献できるか、イノベーションの創出、パートナーシップのあり方などについて議論された。

深圳本社で開催されたサステナビリティ・サロン

ファーウェイ・ジャパン公式
フェイスブックページはこちらから

About HUAWEI

ファーウェイ（中国語表記：華為技術、英語表記：Huawei）は、1987年に中国・深圳（シンセン）に設立された従業員持株制による民間企業で、世界有数のICTソリューション・プロバイダー。ファーウェイは通信事業者、企業、消費者の皆様に最大の価値をもたらすべく、競争力の高い製品やサービスを170カ国以上で提供し、世界人口の3分の1にもおよぶ人々のICTソリューション・ニーズに応えている。

華為技術日本株式会社／渉外・CSR部
ファーウェイ・ジャパン

〒100-0004　東京都千代田区大手町1-5-1　大手町ファーストスクエア ウエストタワー12階
代表電話番号：03-6266-8008　代表FAX番号：03-6266-8000
http://www.huawei.com/jp/about-huawei/corporate-citizenship

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C019355

VEGETABLE OIL INK

©華為技術日本株式会社
本誌掲載の写真・記事などのコンテンツにおける著作権は、弊社または弊社が利用許諾を受けた者に帰属します。弊社の承諾なしに、無断転載および転写を禁じます。

2016年3月発行